



2018年8月13日

各 位

会 社 名 ナレッジスイート株式会社
 代 表 者 名 代表取締役社長 稲葉 雄一
 (コード番号 3999 東証マザーズ)
 問 合 せ 先 取締役コーポレートビジネスユニット長 柳沢 貴志
 (TEL 03-5405-8120)

**連結決算開始に伴う連結業績予想の公表
 及び個別業績予想の修正に関するお知らせ**

当社は、2018年9月期第3四半期より、従来の単体決算から連結決算に移行しますので、2018年9月期の通期連結業績予想につきまして、下記のとおりお知らせいたします。

また、最近の業績動向を踏まえ、2017年12月18日に公表いたしました通期個別業績予想を下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

記

1. 連結決算開始について

当社は、2018年5月22日公表の「株式会社フジソフトサービスの株式取得（子会社化）に関するお知らせ」のとおり、2018年6月1日付で、株式会社フジソフトサービスを子会社化いたしました。

これに伴い、2018年9月期第3四半期より連結決算を開始するとともに、新たに通期連結業績予想を公表いたします。

2. 2018年9月期の連結業績予想（2017年10月1日～2018年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
通期	百万円 952	百万円 34	百万円 24	百万円 41	円 銭 8.82

(注) 1. 2017年9月期は連結決算を行っておりませんので、対前年増減率は記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益は予定期中平均発行済株式数により算出しております。

3. 当社は、2017年10月5日付で普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行っております。また、2018年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合をもって株式分割を行っております。上記では、2018年9月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益を算定しております。

3. 連結決算の概要

上記の連結業績予想は、「4. 個別業績予想の修正（2017年10月1日～2018年9月30日）」に記載の個別業績予想の数値に、2018年9月期第3四半期連結会計期間より当社の連結子会社となる株式会社フジソフトサービスの2018年4月1日から2018年9月30日までの6ヶ月分の業績予想を織り込んだ数値となります。また、2018年9月期第3四半期連結会計期間に計上した株式会社フジソフトサービスの株式取得に伴うアドバイザー費用等に加え、同社の株式取得に伴うのれん償却費等の予想も織り込んだ数値となります。

4. 個別業績予想の修正（2017年10月1日～2018年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回予想 (A)	百万円 885	百万円 172	百万円 171	百万円 156	円 銭 32.96
今回修正 (B)	819	65	55	33	7.11
増減額 (B-A)	△66	△107	△116	△122	-
増減率 (%)	△7.5%	△62.0%	△67.5%	△78.4%	-
(ご参考) 前期実績 (2017年9月期)	790	155	150	147	34.55

(注) 1. 1株当たり当期純利益は予定期中平均発行済株式数により算出しております。

2. 当社は、2017年10月5日付で普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行っております。また、2018年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合をもって株式分割を行っております。上記では、2017年9月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益を算定しております。

5. 個別業績予想の修正理由について

当社は引き続き中堅・中小企業向けSFA/CRMクラウドサービス「KnowledgeSuite（ナレッジスイート）」を中心に、ストック型のクラウドサービス拡大と機能強化に注力し、経済産業省「2017年度補正 サービス等生産性向上IT導入支援事業」における「IT導入支援事業者」認定を受けるなど、中堅・中小企業へのクラウドサービス導入促進を推進してまいりました。また、クラウドサービスの新規顧客獲得に向けた積極的なマーケティング・営業活動を展開したことで、中堅・中小企業の問い合わせ数及び新規契約社数は過去最大のペースで推移しております。

しかしながら、第3四半期中において、当社主力サービスであるSFA/CRMクラウドサービス「KnowledgeSuite（ナレッジスイート）」を利用する大手企業の大口契約が、継続を前提として業績予想に織り込んでいたものの、結果として約5年の利用を経て契約終了となり、クラウドサービス継続収入が大幅に減少したこと、またソリューションサービスの第4四半期中における案件の受注が想定よりも下回る見通しであるため、通期売上高は過去最大社数の新規契約だけでは吸収することができず、予想を下回る見込みとなりました。

利益につきましては、昨今のIT人材不足による採用の難航により、人材採用費用及び人件費の高騰に加え、営業力及び採用力強化のための本社移転が当初予想していた時期より前倒しとなったことによる当期中の費用が増加したこと、及びM&Aに係る支払い報酬等への費用などIT人材確保に向けた積極投資により、一時的に発生した販売費及び一般管理費が当初予想より30百万程度上回り、当期中には吸収しきれない見込みとなったため、通期の業績予想を上記のとおり修正いたします。

今後は、中堅・中小企業を中心に拡大し続けているクラウドサービスにおいて、大口顧客に依存せず安定的な収益基盤となる中堅・中小企業へのクラウドサービス導入の拡大を進め、収益性の向上を前提とした積極的な投資活動及び事業拡大を推進してまいります。

以 上

※本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は、経営環境の変化等の様々な要因によって異なる場合があります。